

時を超え ヘンデルを歌う喜び

～オール・ヘンデル・プログラムをあなたへ～

後期バロック最大の作曲家のひとり、G.F.ヘンデル(1685-1759)。オラトリオ「メサイア」でよく知られていますが、オペラ・声楽作品を得意とし多くの名作を残しました。

その特長は「声を知り尽くした自在なメロディ」。声と楽器、また声同士の駆け引きの面白さは、生の演奏でこそ味わえる喜びに溢れています。しばしば演奏には奏者によるバリエーションが加えられ、そこには「今」この瞬間に生まれる表現が、生き活きと宿ります。

今回、代表作「エジプトのジュリオ・チューザレ」のクレオパトラのアリアを中心としたオール・ヘンデル・プログラムに挑むのは、ソプラノ末吉朋子。「魔笛」の夜の女王などを得意としバロックオペラの出演も数多く、華やかな超絶技巧が聴きどころです。ピアノは、オーケストラを1台のピアノで再現する、多彩な表現で出演者が絶対の信頼を置く瀧田亮子。そしてゲストには、バロック時代の歌唱法を極め、また多くのヘンデル公演に出演を重ねてきた、藤原歌劇団のプリモ・バリトン牧野正人氏と、日本のヘンデル研究の第一人者である、ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員長の三澤寿喜氏を迎え豪華なメンバーで、2世紀以上の時を超え「今」紡ぎだされる新しい音楽を、知的な刺激もたっぷりにお届けします。

出演者



末吉 朋子 / ソプラノ

国立音楽大学卒業、(財)日本オペラ振興会オペラ歌手育成部修了、01～03年イタリア・ヴェローナ留学。2005年国際オペラコンペティション「ドン・ジョヴァンニ」日本ブロック・ツェルリーナ役代表。柴山昌宣、牧野正人、Paola Fornasari Pattiの各氏に師事。「魔笛(夜の女王)」をはじめ多くのコロラトゥーラのレパートリーで国内外のオペラやコンサートに出演、また古楽グループ「アントネッロ」とモンテヴェルディをはじめとするイタリア初期バロックオペラにて多数共演。ソロCD「クラシカ」(Stereo誌特選盤)発売中。藤原歌劇団団員、東京室内歌劇場会員、日本ロッシニ協会会員。



牧野 正人 / バリトン

藤原歌劇団を代表するバリトン歌手として活躍。新国立劇場では開場以来「アイダ」にアモナスロ役で出演後、「セビリアの理髪師」「蝶々夫人」「リゴレット」など出演を重ねている。また、イタリア初期バロック時代の歌唱法についての研究論文を発表し、演奏と研究は高い評価を受けている。音楽セミナーや講習会に講師として参加し、バロック時代の歌唱法を基にした発声法や演奏表現を後進に伝えている。日伊声楽コンクール・シエナ大賞、パヴィーア国際声楽コンクール第2位、ネリア国際音楽コンクール第1位、ジローネ賞受賞。洗足学園音楽大学、昭和音楽大学客員教授。浜松学芸高校特任教諭。(公財)日本オペラ振興会評議員。



瀧田 亮子 / ピアノ

埼玉県出身。幼少よりピアノ、室内楽、コーラスや音楽理論を学ぶ。武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。桑原淑子、岩野裕幸、山崎洋子の各氏に師事。卒業後は藤原歌劇団を始めとする多くのオペラ公演に音楽スタッフとして携わる。ソリストの良きパートナーとして、リサイタルやディナーショー、テレビやラジオに出演。エレナ・オブラストワ、高橋薫子、中鉢聡など国内外の著名な歌手と共演。藤原歌劇団団員。信州国際音楽村5月オペラ音楽監督。武蔵野音楽大学嘱託講師。



三澤 寿喜 / お話・監修

ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員長。北海道教育大学名誉教授。元国際G. F.ヘンデル協会(ドイツ、ハレ)理事。国立音楽大学大学院修了(音楽学)。著書：『ヘンデル』(音友)など。訳書：ホグウッド著『ヘンデル』(東京書籍)など。校訂譜：《メサイア》ヴォーカル譜(全音)など。指揮活動：ヘンデル《メサイア》、《アレグザンダーの饗宴》(三菱UFJ信託「音楽賞」受賞)、《イエフタ》、《ソロモン》、《セメレ》など。

チケットお問い合わせ

《全席自由 4,000円》

E-mail

musicallargare.2022@gmail.com

主催 ■ musicallargare

(ムジカルガレ)



E-mail



お申し込みフォーム

後援 ■ 公益財団法人日本オペラ振興会 藤原歌劇団

一般社団法人東京室内歌劇場

ヘンデル・フェスティバル・ジャパン実行委員会

Access

武蔵野スイングホール

東京都武蔵野市境2丁目14番1号
(JR武蔵境駅北口駅前)

本公演は新型コロナウイルス感染対策ガイドラインに基づいた予防対策を講じ開催いたします。ご来場時にマスクの着用、手指の消毒にご協力ください。当日37.5℃以上の発熱がある方、および体調にご不安のある方はご入場をお控えください。

